

第58号
 発行日：平成27年10月10日
 発行所：
 東京青山同窓会事務局 **新住所**
 〒107-0062
 港区南青山3-8-9-202
 (有)ジェイ・クラブ内
 TEL. 03-3423-3591
 発行者 池 一

東京会報

東京青山同窓会

-東京青山同窓会年間維持費-
 1口 / 1,000円 2口以上(年間)
 会計幹事：佐藤 茂 (77回)
 振込先：三菱東京UFJ銀行・
 江戸川橋支店
 普 1170247 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成27年 東京青山同窓会 新人歓迎会・講演会 報告

平成27年6月19日(金) 於：ANAインターコンチネンタルホテル東京 野口 俊介 84回

6月19日夜、20名の123回生を迎えて、2015年度の新人歓迎会・講演会がANAインターコンチネンタルホテル東京にて盛大に開催されました。

最初に、東京青山同窓会の猪口会長と、来賓として新潟から駆け付けてくださった、青山同窓会の長谷川会長からご挨拶をいただきました。猪口会長の挨拶では、現在の大学を取り巻く厳しい環境に触れつつ、日本の近代化と戦後復興に大きな役割を果たした大学は世界遺産にもなり得るのではないかと敬嘆すべきご意見も披露されました。長谷川会長からは、若いうちは失敗してもそこから這い上がることで成長できる、青山同窓会を盛り上げていって欲しいと新人に対しエールを送って頂きました。また、123回生の三年生時に学年主任をされた永村先生から、ご挨拶と新潟高校の近況報告があ

り、今年の受験成績としては昨年には及ばないものの、120周年の年に入学した123回生は意識が高く、「自分にとっての最難関を目指せ」という指導に応じて頑張ってきている。同窓会のネットワークの力で鍛えてやって欲しいとの激励の言葉がありました。

さて、今年の講演会では、「佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて」と題して、新潟県教育庁世界遺産登録推進室長の北村亮様より、佐渡金銀山の魅力について詳しく解説して頂きました。また、「佐渡を世界遺産にする首都圏の会」からも5名の方々がお揃いの緑色のジャンパーでご列席され盛り上げて頂きました。世界遺産登録に向けてライバルも多く、道程は平坦ではありませんが、「400年以上にわたる金生産の発展の歴史を限られたエリアで目の当りにできる世界唯一の鉱

山」である佐渡金銀山は世界遺産にふさわしい存在であり、再来年度の登録実現に大いに期待したいと思います。

講演会のあと、昨年度の読売広告大賞準グランプリを獲得した畑山さん(117回)による新人コールを行い、123回生を代表して目黒さんから返礼の辞がありましたが、「東京に出てきて標準語と思って喋った言葉が方言だった、新潟が恋しい」という、先輩諸氏も経験したような、率直な心情も吐露されました。

小村さん(59回)のご発声で始まった懇親会では、各テーブルに分散した新人を囲んで和やかな時間を過ごした後、恒例の84回生による校歌・応援歌の熱血指導(?)で盛り上がりつつ、閉会・写真撮影となりました。2次会は会場近傍の居酒屋の座敷を貸し切って行いましたが、座る場所もないほど多くの参加があり夜が更けるのも忘れ世代を超えて飲み語り合いました。皆様お疲れ様でした。

来年の新人歓迎会も今年以上に多くの方が参加し盛会となることを祈念いたします。



事務局通信

住所リスト出力サービス

当同窓会では、皆さんからの情報を元にデータベースを更新しております。
「同期会開催のための住所録」が必要な方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストをご提供いたします。ご希望の卒業回数を明記し、代表者の連絡先・送付先を書き添えて事務局宛 FAX。またはメールをお送りください。
 FAX. 03-3423-1692 mail:kusakabe@moon.email.ne.jp (H下部・82回)

■住所リスト1学年 / 3000円■

偶数月第二火曜日の会 (申込み不要)

赤坂から銀座に変わりました!

H27/12/8 (兼忘年会)・H28/2/9・4/12・6/14
 毎回定時 19時より◇日本海庄や(銀座7丁目店) 中央区銀座 7-12-7
 高松建設ビル地下1階 Tel:03-3546-6891
 場所も時間も固定です。ふらりと立ち寄りください。

Web サイト

◇本部◇ <http://www.aoyama-dosokai.com>
 ◇東京◇ <http://www.tokyo-aoyama.org>

会長挨拶

猪口 孝 70回



1953年、9歳の頃にはとにかく夏がすきだった。灼熱の夏だったにちがいが無いが、今年のように過酷な夏とは感じていなかった。なぜか。休みだったので、魚や虫をとりまくって、毎日すごしたからではないか。不思議なことに夢中になっていると暑さも寒さも気にならない。

旧新潟市の中心街の真ん中のあたりに住んでいたのだが、そこから信濃川を昭和橋で渡ると、一面たんぼであった。魚は沢山いた。虫も沢山いた。私は自慢ではないが、川や池の木陰や草や藻のあたりにいる魚を凄く確率ですくう技術では誰にもまけなかった。虫たとえば、カマキリをうしろからよこから、静かに手をのびし、カマキリが気づかないうちに捕まえるのも多分誰にもまけなかった。そのせいか、将来は魚博士か虫博士だと思っていた。ところが1956年の新潟市大火事で居住環境が激変した。魚も虫も激減した。1964年の新潟市大地震も同じような効果があったのだろう。しかし、大地震で東京から新潟

に行く途中、新潟駅のはるか前にたんぼのまんなかでおろされ、大きなトラックで新潟市にむかった。その時にみたのは川という川、たんぼというたんぼに沢山の魚が死んで浮かんでいたことである。1964年までには私の新潟は死に絶えたのではないだろうか。私は東京にいったのが1962年であるが、それからかなり経って、もうひとつ大きな事件が起きる。1982年に上越新幹線が開設したことである。何がおきたのか。もう魚や虫は激減したのだが、今度は人間がしずかに消えていったのである。なぜそう思うか。近隣の毎年の東大入学者の数が『財界にいがた』にのっていた。それをみると、富山や石川は人口各100万人で東大入学者各30人、新潟は200万人以上で東大入学者は10強であるとのことである。富山・石川が2032年には新潟並に減少するだろうか。

64回東京同期会報告 今年は日本倶楽部で

川崎明・坂井敬

東京五輪を控えてさらに都市開発が進められ、長年慣れ親しんだ有楽町ニューターキョーが使えなくなり、今年は紹介により日比谷、帝国劇場のある国際ビル8階、日本倶楽部で開催した。日本倶楽部は我が国の会員制倶楽部の草分けとして格式の高い場所、昨秋下見をした時点で改装中だった会場もすっかり新装なり5月30日(土)の午後、44名が参加して今年も年に一度の再会を喜

び合った。今年は平林伸一君(塩尻市)から、古代の神話と神社のつながり等を詳しく研究労作された「神話に見る神社の世界」(カラー16ページ冊子)を出席の皆様へと多冊寄贈頂いた。さらに11年ぶりに五十嵐滋君がアコーディオンを持って参加され、久しぶりに合唱独唱と新会場にふさわしいミュージック・タイムが演出された。

私達64回同期会も平成15年からこの時期に毎年開催して今年で12回目を数え、多数の人達にとって年1回の元気確認顔合わせの場になっている。藤沢靖郎君からお便りを頂いた。「64回同期会は私にとって元日に次ぐ一年の生活の

一つの区切りになっています。ここまできると集まる人皆が家族という雰囲気が強くなって来たように思います。家族が1人2人と去っていくのは寂しい限りですが、これからは是非続くことを念じています。」たしかに毎年数名の方が亡くなられ、またいつも出席メンバーの中からも病魔に倒れる人も出ている。しかし同期皆様の協力のもとで12年間も続いて来た64回同期会を何とかこれからも継続できるよう頑張っていきたいと思う。

今年も川上修君(神戸市)、清野坦君(大津市)、若槻晃一君(新潟市)が遠方より参加された。心から感謝したい。



酔都志会-74回生・在京同期会-報告 工藤 義夫 74回

再び3年振りで開催した74回生の在京懇親会=酔都志会(5月16日)の近況をお伝えします。

来年で卒業50年を迎える齢60代後半ではほぼリタイアの世代。前回に続き、新潟からは相変わらず元気澁刺の宮地正樹先生をお迎えし、女性9名を含む39名が参加しました。十数年ぶりや酔都志会初参加の顔に、関西・新潟など遠方からの顔も加わって「遠く熱き日々」の思い出と近況などに、一次会と二次会の計6時間が瞬く間に過ぎました。80歳代半ばの宮地先生はご壮健で74回生に囲まれても同期と見まごうほど。先生は我等と同時に高校を卒業され74回生は最後に教えた世代であることからひとしお感慨深いとのこと(後年、高校長にもなられた)。但し、来る電車で少し腰を痛められた由、ご養生を祈ります。一次会

でのスピーチは遠方や初参加等の方に特にお願いし、波乱の人生を語ってもらったが、時間の制約もあり皆の生の声を聞けなかったのは残念だったものの、二次会も含めてゆくり時を過ごせたのは幸いだった。都合がつかず参加できなかった方々も含め呼びかけた約180名の中からの声をまとめて事前にメール配布し、話題の一助とした。

なお、翌6月にはドイツから一時帰国の水

島信さんも参加して酔都志会PART2も開催、5月に参加できなかった顔も加わったりもした。

故・上田久則氏等有志の呼びかけで始まった酔都志会の末永い継続を願い、今後も極力毎年でも開き、皆さんの第2第3の人生を聞くのも楽しみです。9年前から幹事を担当しつつ、本会が懐かしい交流の場のひとつとなれば幸いで、ひとりでも多くの新しい顔・懐かしい顔の出逢いが実現するよう微力ながらがんばります。

母校も創立123年を過ぎ、あらためて長い

伝統と多くの卒業生に思いを馳せることになります。思えば、在校時の新潟国体と新潟地震、青陵祭と修学旅行など半世紀の“とき”が経つことに感慨を覚えます。本会の運営に協力いただいたすべての方に感謝しつつ。本会常連の近藤博さんが8月逝去、彼からは本会をくれぐれもよろしくとの言葉あり。



工藤義夫 高橋正 六石英江(17歳) 高橋信郎 榎谷好寿 佐藤俊栄 池田裕 加藤直久 青海崇 石林源基 橋本昭一郎 原信一 中村公美子 佐藤信秋 高橋保 河野敬一 岩崎修平 西田百合子 土屋幸義 江口則男 宮地正樹 川田淳子 中村義一 橋田心子(17歳上) 渡部幹五 竹之内美和 池一(17歳) 伊藤宏 石黒桂 小林洋子 豊田邦夫 大滝均 丸山道人 高辺由子(17歳) 安田明子(17歳) 九里保 菊池隆

新潟高校1・2年生による東大訪問・企業研修

太田 裕 71回

平成27年度の東大訪問・企業研修が7月30日～31日、一泊二日で実施された。本イベントの目的は、(1)東京大学を訪問して、大学の模擬授業を受講し、キャンパス見学を体験することにより、今後の進路志望の決定や学習意欲を高める一助とする。(2)東京で活躍する青山同窓生の職場を訪問して直接講話を受け、職場の様子を実際に見学することで、働くことの喜びや意義を理解するとともに、将来の日本のリーダーを目指す高い意識を持つ。…こととされており、小生も大変意義のあることと思った。

訪問先省庁・企業とも各90分程度だが、OBやOGによるミニ講演会もあり、諸先輩が高校・大学時代に頑張ってきたこと、会社での働きぶり、社会との関わりなどを話し、参加の生徒たちから質問して貰うという内容だ。一日目の東大訪問は159名全員一緒だったが、二日目は午前4箇所(外務省・日本経済新聞社・建設技研研究所・NTTデータ)、午後4箇所(財務省・共同通信社・三菱商事・トヨタ自動車)4班に別れて各社を訪問した。

小生は進路指導部の森克也先生の依頼を受けて、自分のかつての職場である三菱

商事の広報部をお願いして、一班39名を受け入れて貰った。

7月31日、13:30、まず三菱商事本店会議室で広報部の大川由香里課長より歓迎の挨拶に続いて、三菱グループ28社について・三菱の歴史、そしてその中の総合会社としての三菱商事の組織・機能などについて説明があった。三菱商事は世界90カ国、200都市にオフィスを構え、現地社員・事業投資先社員を含め約60,000人の社員が頑張っているという説明の後、好奇心旺盛でたくましい、世界で活躍できる人材を求めているとのことでお話で締め頂いた。

次いで小生から、語学研修生時代のこと・コーヒーの輸出に携わっていたブラジル駐在時代・帰国後世界中から珍しい果物の新規輸入事業のこと・46歳の時、突然部下14人のチームリーダーから1,400人の外食企業の社長を拜命した話など20分に亘って話した。

そして最後は、新潟高校109回生の小池

圭祐さん(現在アストモスエネルギー株式会社に出向中)から、40分に亘って入社後エネルギー事業グループに配属され石油コークスの輸入業務に携わったこと・ドイツのデュッセルドルフ駐在時代の話・現在従事しているLPG船のオペレーションなどを中心に話して貰ったが、学生時代に頑張った剣道が海外勤務でも色々な人とのコミュニケーションに大いに役立ったこと、そして情報力は商社の持つ強みの一つだが、日々のビジネスを通じて得られる生の情報こそ重要であるとお話で締めてくれた。その後、小池さんは生徒たちからの質問に丁寧に答え、三菱商事での企業研修は終了した。

参加した生徒39名(男子27名、女子12名)は一日目の早朝に新潟高校前を出発し、午後一番から東京大学を訪問、母校OB教授陣による特別講義を受講、夜も東大青山会との座談会を経て、二日目は朝早くから官庁・企業を訪問していた。そんな強行スケジュールにも拘わらず三菱商事の研修中居眠りをしていた生徒は皆無で、最後まで熱心に聴講していた。講師のレクチャーの後の質問も的を射たもので生徒たちの質の高さを感じた。

また、受講の始めと終わりに全生徒が起立してきちんと挨拶をしていたが、OBの一人として大変誇らしく思った。少なくとも小生の高校生時代と比べるとはるかにしっかりして大人だなあとただただ感心した。



いつの日か甲子園へ 2015年夏、県高野球部ベスト4の御礼

鈴木博之 107回・野球部OB

新潟高校野球部、30年ぶりのベスト4。この話題を聞き、関東にいらっしゃる県高OBの皆様は、どれだけの期待と高揚感を感じていらっしゃいましたか？

東京の野球部OB、84回の星野紹英先輩より、現地の熱を伝えよ、と指示(命令?)を受けまして、今年2月にUターンをしたばかりの107回卒の若輩者が当時のスタンドの熱をお届けさせていただきます。

創部120年を超える県高野球部ですが、残念ながら今年で100年を迎える甲子園大会に出場したことはありません。近年では2010年春の選抜選手権で21世紀枠に惜しくも選出漏れなど、OB・OGとしても悔しい思いをしています。

今年の県高野球部は秋の県大会ベスト8と素晴らしい結果を残したのち、春の地区予選で初戦に潰さ、果たしてこの夏やいかに?という想いが正直な心境でした。しかし、表面の結果でしか判断しない自らの愚かさを思い知るようになります。

現場では、自身で甲子園出場経験を持つ後藤監督、他校で甲子園へ引き連れた経験を持つ108回OBの北畑部長、「甲子園に行く」と口に出し本気で一丸となっている選手たち。OBは、ネットワークから元プロ野球選手の広野コーチを招聘など、まさに現場・父母会・OBが一丸となって本気

で取り組んでいました。

夏の大会が始まると県高野球部の快進撃が始まります。30年間破れなかった夏ベスト8の壁を5-0で完勝し、甲子園出場常連、

新潟 粘って完全燃焼

新潟-日本文理 3回新潟1死二、三塁、内野ゴロの間に三走村山(右)が生還し、1-1。ハイタッチで迎えられる=25日、エコスタ

昨年全国ベスト4の日本文理戦を迎えます。昨年は2回戦、3-1で惜敗した宿敵です。

当日のスタンドは、新潟県野球ファンの多い日本文理戦にも関わらず、県高現役生、OB・OGで埋め尽くされていました。試合も選手には「胸を借りる」という意識など毛頭なく、7回裏まで1-1と堂々たる試合運び。

が、しかし、8回表に甘く入ったボールをホームランにされ追加点を許すと、その後の粘り虚しく3-1と甲子園の夢は絶たれました。

選手は、短い練習時間にも関わらず時間を工夫しながら甲子園を目指して頑張っていました(「超ポジティブ主義」という選手間で必ず笑顔でハイタッチをする姿勢を自ら決めるなど、自分らしさを貫いた良いチームでした)。OBもスタンドを凌駕する大人数で「丈夫(ますらお)」を合唱し、県高OBの結束力と誇りを感じたひと時でした。そして、OBとしてどんなときもできる応援をし続けたい、と心から思った次第です。

県高OB・OGの夢を見させてくれた野球部関係者の皆様、本当にありがとうございました！また秋の大会が始まります。お時間のある方はぜひスタンドまで足をお運びくださいませ。

放送部全国入賞に際し、自身の放送部生活を振り返って

宮本 真理子 120回・放送部OB

この夏、新潟高校放送部がNHK杯全国大会高校放送コンテストのテレビドキュメント部門とテレビドラマ部門で奨励賞を取りました。

この賞は、全国で40作品しか進まない準決勝の中でも優れた作品にのみ贈られます。野球なら甲子園に行くくらいにはすごいこと。優秀な後輩を誇りに思います。

作品を見せてもらおうと放送室にお邪魔してきました。懐かしい部室ですが、私がいた時よりはるかに片付いているのを見て、これなら作業効率も良いのだろうと感心しました。でも、防音室の暑さや窓からの風景は変わらないままで、番組作り

に明けました。

番組作りは地味な作業の連続です。よく晴れた日にグラウンドから届く野球部の爽やかな掛け声を聞きながら、薄暗い部室でちまちました編集作業を一人でしているときは、入る部活を間違えたかなと思うこともありましたが、それでも、今この瞬間の自分が伝えられるものを伝えたいと、それだけを考へて番組を作り続けていました。

私は高校生活が楽しかったです。そしてそれが長くは続かないことも知っていました。日々の小さなときめきや発見、怒りや悩みは、大人になれば忘れてしまうか、さもなくばどんなに欲しくても手にはいらなくなるののどろろと感じていました。席替えの結果に一喜一憂することも、放課後に肉まんを買い食いすることも、期末テスト後の開放感に浸ることも、丈夫の指導で怒られることももうありません。それは寂しいことのように

思いました。いつかは終わるその時間の中で、今の自分が伝えられること、今しか伝えられないことをずっと探していました。そこで見つけた色んなものを番組という形で残せてくれたことを幸せに思います。

現在、後輩たちは次の大会に向けての新たな番組作りを進めています。順調なようです。今の彼らにしか伝えられないものはなんでしょう。それがまた見られることを楽しみにしています。



母校の講演会に行ってきました

田崎 正巳 84回

本年5月14日に「新潟高校新入生啓発講演」という場で講演させて頂きました。実は今回の講演は2回目で、一昨年にもやらせて頂きました。

2年前に私が初めて依頼された時の趣旨は「新潟高校の生徒は優秀な子供たちが多いが、内向きで外を見ていないというか、外に興味がない。将来の進路を考える時もっと広い視野で世界を舞台に考えられるような若者になってほしい。」というものでした。

私とその役目を果たせるかどうかはわかりませんが、母校からのお声掛けを大変光榮に思い務めさせて頂きました。

内容は、前半はモンゴル時代(2010年から2年間モンゴル国立大学経済学部で経営を教えていました)の経験から「新興国と向き合うには、何が必要か」「新興国の若

者たちは、日本人と何が違うのか」という、将来彼らが経験するであろう新興国との向き合い方を話しました。

後半は、欧米人とのビジネス経験(16年余りの欧州・米国企業での勤務経験があります)から感じた「グローバルでビジネスをするって、どういうこと?」「人と違うということの大切さとは?」ということを話しました。行って見て、まず目に入ったのは素晴らしい講堂でした。学年全員が座れる大学の階段教室のような立派な講堂がありました。(写真参照)

更に生徒らの態度が素晴らしい。講演していて、生徒が私の話に集中しているのが分かりました。私語もスマホもありません。その態度が形だけじゃないことは、講演後の質問やアンケートでもわかりました。ちゃんと聞いてないと書けないような、かつ非常に前向きな内容ばかりでした。

正直に申し上げます。今の新潟高校の生徒は非常に優秀でマナーもよく、本当に大人です。私の高校時代と比べれば、雲泥の差と言っていいでしょう。アンケートの

言葉などから、逆に私が勇気づけられたほどでした。

帰り際、2年前にこの企画を担当された先生(現在3年生担当)からご挨拶をいただきました。先生がおっしゃるには「2年前の講演は確実に生徒たちに今も影響を与えています。進路選択にも、それまでと違った流れが感じられます」とのことでした。まさか1回の講演が大きな影響を与えることは考えられませんが、それでもそう口にしていただけるだけでも嬉しさ百倍でした。

田崎正巳

(経営コンサルタント、STRパートナーズ代表)



母校講堂

『笑う男』シネ・コンサート報告

三村 兼哉 71回

「人生は出会い」とはよく言ったものだと思います。今回の「笑う男」シネ・コンサートの企画を実施するにあたり、つくづくこの言葉を噛みしめました。「出会い」と言ってもいろいろな出会いがあります。人との出会いは勿論のこと、本との出会い、音楽との出会い、映画との出会い、そのほかいろいろな出会いがあります。

この「笑う男」の企画にあたり、まず長沼由里子さんというヴァイオリニストに出会い、彼女を通じて「フランス八重奏団」、そして「笑う男」に出会います。それと並行して、東北・宮古の梅村圭一さんに出会い、そして津波で被害を受け、閉館されていた「宮古市民文化会館」の復興計画のことを知ります。

これらの「材料」を得て、「東日本大震災」の復興支援活動を行っていた私は「笑う男」という無声映画と「フランス八重奏団」による生演奏のシネ・コンサートを「東北復興支援のための音楽会」と銘打った支援活動の一環として実施することに思いが至ったのです。

正直なところ、最初は私自身この企画がうまく行くかどうか半信半疑でした。まず「フ

ランス八重奏団」の代表者、そして、その代表者を通じてパリ在住の日本企業の責任者夫妻を紹介され、その結果、「フランス八重奏団による笑う男シネ・コンサート実行委員会」を設立することになります。

その後、日本在住の知人が数人加わり、その中に「青山同窓会」の同級生丸山紀子さん、西尾レンさんがいます。丸山さんは「笑う男」のHPを作ってくれたほか、彼女の周りにいる人たちを巻き込んで、新潟公演のためチケットの販売など強力な援助をしてくれました。また忘れてならないのは、やはり「青山同窓会」の一年下の西村書店の西村社長、同級生の雨宮君、渋谷君、もう少し下の本間桂子さんも大いに力になってくれました。本当にこれらの人々の協力がなかったら、この企画はどうなっていたらうかと思うと冷や汗がでます。またこれらの人々を知る機会を与えてくれた「青山同窓

会」の新潟本部、東京支部の事務局にも感謝の気持ちで一杯です。

少し余談になりますが、「為せば成る為さね成らぬ何事も成さぬは人の為さぬなりけり」という言葉がありますが、私が思うには、この言葉の「…成さぬは人の為さぬなりけり」ではなく「…天の為さぬなりけり」だと思っています。

人のできることには限りがあると思います。これは「人事を尽くして天命を待つ」、あるいは「則天去私」「あるがままに」などにも通じるものだと思います。

また「一歩を踏み出す勇気」「嫌われる勇気」などアルフレッド・アドラーの教えをわかり易く書いた本に出会うことができ、その教えにおおいに共感しました。

この次はどのような企画に出会うのか。儂い夢を見ている今日この頃です。

2015.8.15 パリ郊外にて



新潟公演(県民会館小ホール)後の記念撮影 2015/5/31 後列左から3人目が三村兼哉氏



平成27年度 総会のご案内

日時

平成 27 年 11 月 6 日 (金)
受付開始：午後 6 時
開会：午後 6 時 30 分

会費

一般：8,000円
女性：6,000円
大学生：3,000円

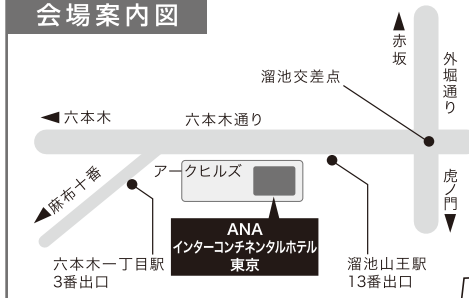
会場

ANAインターコンチネンタルホテル東京
港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

プログラム

- ◇総会議事◇
- 会務報告・会計報告など
- ◇懇親会◇
- 着席ブッフェ

会場案内図



最寄り駅

銀座線・南北線【溜池山王駅・13番出口】
南北線【六本木一丁目駅】
路線バス
都01系統/新橋駅～渋谷駅
【赤坂アークヒルズ前】下車

今年のアトラクションは
90回当番幹事による
大クイズ大会！



予告 次年度の新人歓迎会は平成 28 年 6 月 17 日 (金) の予定です。

■ 訃報 ■

H27年5月～9月の期間に事務局にお知らせいただいた方々です。心より冥福をお祈り申し上げます。

| | | | |
|---------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 星名三次 (40回・日付不知) | 高橋吉之 (51回・H27.1.2) | 中野義一 (62回・H25年) | 近藤 博 (74回・H27.8月) |
| 下 勇 (46回・H27.5.27) | 高橋信次 (55回・H27.3.25) | 石崎敏雄 (63回・H26.12月) | |
| 斉藤宗三 (50回・H27.4.19) | 田村健一 (59回・H27.1.11) | 近藤清市 (64回・H27年) | |
| 斎川正二 (51回・H27.2.2) | 佐藤武司 (62回・H27.5.6) | 渡辺芳道 (70回・H26.11.17) | |

一筆啓上

*H27年の新人歓迎会・講演会への出欠はがきとメール、H26年度後半の会費振込用紙などに添えられた主なメッセージです。

通12回・田山秀三／高齢につき脱会させていただきます。永年、大変お世話になりました。皆様のご健勝と会のご盛会を祈念いたしております。敬具

46回・下勇／下勇ごと、去る月27日永眠いたしました。永年の御交誼に御礼申し上げます。(内)

50回・寺田秀夫／顔を元気で毎日を楽しんでいます。敬白

55回・高橋信次／長い間お世話になりました。夫信次は3月25日肺炎にて永眠いたしました。(享年85歳)学校町への通学路、楽しんできました。皆様お健やかに。(裕子)

56回・飯島昌彌／お陰様でまずは健やかに過ごしております。会のご発展をお祈りします。

56回・井上菊雄／会報で兄同様に育つたいこの旗哲(H25年10月)、旗杏洲(H25年6月)の死を知り、改めて生者必滅を実感しました。哲は桐生高等工業、杏洲は東北大でジェラルミンの世界的学者本多先生に習いました。博多に住んでいると土地の人は、中学が一番大切なステータスで誇りに思っています。新潟時代は親族すべて、男は新潟中学、女は新潟高女で、まことに一つしかない時代で、入れなかった人は新潟を離れました。それで新潟中学には入れたことが人生で一番の安心でした。やはり良い学校でした。

58回・大門啓治／早いですがH27年度会費として振り込みます。

58回・田中浩次／なんとか頑張っています。

58回・毛利剛／平成20年6月に脳梗塞を発症し、昨年の6月に特養に入所致しましたので、脱会させて頂きたいと思ひます。宜しくお願い致します。(娘)

59回・阿部進／元気です。なんとかゴルフを続けています。

59回・岡田久／催しの盛会を祈ります。

59回・栗田順之／残念ながら病に伏しており出席不可能です。ご理解下さるよう宜しくお願い致します。(内)

59回・茂泉喜彦／元気にはしております。年齢的に夜の会合は欠席させて頂いております。悪しからず。ご盛会をお祈りしております。

59回・田村健一／ご連絡が遅れ申し訳ございません。義兄健一は腹部悪性腫瘍のため、本年1月11日他界いたしました。雑事に取り紛れ、報告の遅くなりましたことお詫び申し上げます。(61回・関根理)

59回・花井進／体調は良好ですが、高齢となり夜間の会合は差し控えております。ご盛会を念じております。

60回・入山文郎／同窓会の通知ありがとうございました。6月19日及び11月6日は欠席いたします。

60回・小林吾郎／昨年ボランティアで火の用心火回り中に転倒、

アスファルト路面に顔面強打、以後回復も遅れ、しずかにしとれ、との神のお告げと心し外出を控えています。盛会を祈念します。

61回・安宅久憲／新人歓迎会は以前出席と連絡申し上げましたが体調芳しくないで欠席します。直前の変更で迷惑かけますが宜しくお願いします。

61回・阿部重生／元気です。

61回・小林元雄／所用と重なり欠席させて頂きます。ご盛会を祈念申し上げます。

61回・助川孝雄／欠席させて頂いております。ご盛会を祈念申し上げます。

61回・長沼雄峰／若い会員が少ない。このままだと30年後には東京青山会は消滅してしまう。若い会員の掘り起こしが急務。奮起を望む。ところで仙台を中心に東北に新潟高校卒業生の青山同窓会が設立されて数年がたつ。今後の発展が楽しみです。名ばかりの秋田県在住の東京青山同窓会員より。

61回・花房正光／長い間お世話になりましたが退会させて頂きます。

62回・植松敬／お世話になりまして有り難うございます。欠席いたします。ちょっと体調を崩しております。よろしくお取扱い下さいませ。

62回・熊谷恒夫／神奈川県より新潟市に転居致しました。

62回・佐藤武司／平成27年5月6日死去しましたので、宜しくお願い致します。

62回・中野義一／連絡が遅れましたが、一昨年亡くなりました。長い間ご連絡いただき有り難うございました。名簿の削除を宜しくお願いいたします。

62回・帆刈宏典／同期各位の傘寿を祝いご健勝を祈念いたします。

62回・栗田順之／残念ながら病に伏しており出席不可能です。ご理解下さるよう宜しくお願い致します。(内)

62回・嶺國和／当方元気。最近OBではなくレジェンド扱いになって居ます。同期や運動部(山岳部)には親しく連絡があります。

63回・清水正幸／退会いたしますので、以後郵便物など送らないで下さい。

63回・村山弘義／毎年有為の新人多数の入会があり頼もしく思っております。

64回・風間治雄／大変遅くなり失礼いたしました。不在をしております。昨年暮れの入院治療中の為未々食事や飲みものに制限があるので、会合には無理が伴います。

64回・川崎明／今年の新人歓迎会は仕事の都合で出席出来ません。ご盛会を祈ります。5/30(土)開催の64回同期会は44名の

参加でした。

64回・近藤清市／連絡が遅くなり申し訳ありません。夫清市が永眠致しました。お世話になりました。

64回・坂井敬／5月30日(土)に今年も東京同期会を開催しました。場所は有楽町再開発で長年親しんだニュートーキョーから日比谷国際ビル内の日本倶楽部で開催。44名の参加で13時～15時半までにぎやかに歓談しました。また写真ならびにご報告を会報に載せて頂くと思っております。

64回・佐藤章／ご盛会をお祈り申し上げます。

64回・清水良男／このところ腰痛厳しく遠出できませんので欠席させて頂き。御盛会をお祈りいたします。

65回・佐藤武行／元気です毎日過ごしています。皆様と会の発展を祈ります。(返信が遅く申し訳ありません)

65回・丸山一敏／欠席いたします。いつもお世話になります。

65回・山田寛／体調不良により欠席致します。

65回・山本和親／出席の連絡をしていましたが、ここに来て足腰の調子が今一つで夜間の外出に自信が持てないため、出席を取り止めさせて頂きたく、連絡申し上げます。前回同様直前の体調理由欠席となり、また関係者に多大なご迷惑をかけることをお許しください。

66回・川原英夫／開基4段の免状を取りましたが町の開基会では負け続けて少々焦っております。(150pt→133pt) 2015.5.30に新潟に行き、亡姉(中央高校)と弟(県立新潟工業)のお墓参りを済ませて帰宅しました。高速道路へ向かう途中懐かしい母校の前を通り、余程程ろうかと少し迷いましたが、時間の都合もあり寄らずに帰りました。少々残念でした。年会費2千円納入致します。

67回・佐々木邦夫／おかげ様で元気です。ご盛会をお祈り致します。

67回・高橋信夫／退会させていただきます。

67回・前田康久／佐渡を世界遺産にのお手伝いをしていました。6/19は出席、11/6の総会は欠席します。盛会を祈ります。

67回・三塚浩／ご案内有難うございました。盛会を祈ります。

68回・重野康人／今回は出席できず。

68回・村山弘／元気です。

69回・高木敏之／元気で週2回の外来診療(血液内科)を続けています。

70回・福島治／本年72才で40年継続した大学での古典ギリシャ語入門講座から引退する予定です。英語を介してギリシャ語及びラテン語にチャレンジしたい方々を目下捜しているところ。



よろしくお申し上げます。

70回・渡辺芳道 / 昨年11月17日逝去いたしました。長らくお世話になりました。皆様のご多幸をお祈りいたします。

71回・雨宮孝弘 / 出席致します。返信遅くなり申し訳ありません。

71回・内山博勝 / 同クラスの別所(西尾)レンさんのお宅で開かれたホームコンサートに参加させていただきました(4月)。マーラーの曲と思いますが彼女のピアノ演奏はステキでした。

71回・太田裕 / 去年50m走で8才の孫に負け、今年再挑戦したが又負けました。条件は年々厳しくなるが、リベンジを期して特訓だ。

71回・柄沢卓 / 地域の自主防災で悩んでいます。

71回・堀清忠 / 「東京青山柔道倶楽部」の活動報告を会報に掲載して頂きました。有難うございます。また、7月の新潟高校在校生の東大、企業訪問でもお力添えを頂きまして有難うございます。今年の進路指導部責任者の森先生(柔道部OB)にお会いしたいと考えて副会長の大田裕君に依頼して6/19の東京青山同窓会に出席を申し込みました。然しながら業務で出張することになりまして、誠に申し訳ありませんが欠席させていただきます。宜しくお願い致します。

72回・黒木トシ子 / ご案内ありがとうございます。残念ながら出席できません。

72回・小嶋修一 / 6/20の早朝より、小学生への環境教育のため欠席します。11/6の総会は未定です。

72回・小林正昭 / 久しぶりの帰省で同期と一杯…。古町通のシャッター通りに寂しさひとしおです。

72回・富田由季 / 新人歓迎会に出席いたします。いつもお世話様でございます。

72回・西村正徳 / 出席いたします。

73回・鈴木厚人 / 盛岡市へ転居しました。

74回・青海潔 / お世話になります。欠席します。

74回・池田正行 / 所用があり欠席します。よろしくお祈りします。本年は博士後課程3年目です。(早大大学院法学研究科)元気でやっております。

74回・和泉潤 / 名古屋で所用があり、残念ながら欠席です。皆様はよろしくお伝えください。よろしくお祈りします。

74回・岩城修平 / 数年前、佐渡金山を訪ねましたが素晴らしい体験だったので出席して講演会も聴きたいところですが、岩手県のホテルが忙しくて、やむなく欠席させていただきます。皆さんお元気で。

74回・江口則男 / 歓迎会は出席を予定しております。たいしたお手伝いできませんが、また受付くらいはやらせていただきます。

74回・大石憲一 / 残念ながら今回の新人歓迎会には出席できません。

74回・解良和郎 / 住所変更をお願い致します。

74回・坂井靖 / 74回生の坂井靖です。新人歓迎会には出席します。

74回・土屋彰義 / 直前の連絡なり誠に申し訳ございません。新人歓迎会ですが、同日仙台で開催される防災点検講習会に行く事になり、欠席させていただきます。すみません、よろしくお祈りいたします。

74回・平野収 / ご苦勞様です。欠席させていただきます。

74回・山崎久孝 / このところ一ヶ月おきに日本を出たり入ったりの生活をしています。帰国することによって日本に住みづらく感じられます。いつの間にか介護保険などというモノの請求が来てビックリしています。円安で海外生活者には益々キビシイ生活環境になってきました。

75回・木戸守 / 欠席させていただきます。

75回・白鳥十三 / 返事が遅くなり申し訳ありません。新潟の個展がようやく終わる、案の定、新潟のお客様とお会いしなければならぬ用ができました。今回の同窓会は欠席いたします。

75回・三宮修 / 変わらず元気に自適の日々を過ごしています。

76回・新野毅 / ご苦勞様です。ご盛会を祈念いたします。

76回・西沢芳樹 / いつもご案内ありがとうございます。「2015年東京青山同窓会・新人歓迎会講演会」の【欠席届】を送信いたしました。

76回・宮原敏 / 生憎、ラグビー部の同期会があり、新潟に行っております。同窓会の盛会をお祈りいたします。私こと5月末で退職し、現在北海道に移り住んでおりますので、以後の連絡はいりません。長い間お世話になり有難うございました。

76回・瀧本雅恵 / ご案内ありがとうございます。昨年度末で定年となり、4月からは時間の拘束から解放されると期待していたのですが、残念ながら、まだ時間が自由にならない日々が続いており欠席いたします。

76回・渡辺祐 / 転居しました。よろしく願います。

77回・石川彰 / 今回、誠に申し訳ありませんが都合により欠席させていただきます。昨年末の人間ドックで肝臓癌が見つかり、今年3月中旬に10日ほど自治医科大学付属さいたま医療センターに入院し手術を行い腫瘍を退治しました。術後は経過も良く現在は薬も飲んでいません。ただ再発し易い部位なので3~4ヶ月毎にCTとかMRIでウォッチングをしていく予定です。6月19日はフォローアップの検査日なので欠席させていただきます。皆様によろしくお伝え願います。

78回・金屋栄 / 転居いたしました。

78回・肥田博子 / 幹事さん、ご苦勞様です。お久しぶりです。娘の家へ転居いたしました。転居先は同窓会の振込用紙に記入します。

80回・長正子 / いつもお世話になっております。受付のお手伝いをいたします。

80回・関本道章 / 新潟に転動になり、退会いたします。新潟の会に入りました。

82回・清田基 / いつもご苦勞様です。

82回・内藤理 / 昨年、下記に転職しました。一般社団法人全国LPガス協会・専務理事

82回・西山活子 / 出席させていただきます。受付のお手伝いをいたします。

82回・星野憲昭 / ご無沙汰しています。7月に新潟に戻って生活することになりました。東京青山とはお別れということになるわけで、参加させていただきます。

83回・佐野栄二 / お世話になっております。19日は、東京を離れてお外出出来ません。申し訳ありません。

83回・谷龍男 / 住所変更させていただきます。

83回・三沢一成 / 残念ですが、当日は用事が入ってしまい、同窓会は欠席いたします。すみませんが、どうぞ宜しくお願いいたします。

84回・田崎正巳 / 出席します。

84回・野口俊介 / 出席いたします。宜しくお願い申し上げます。

85回・雨木若慶 / いつもご案内有難うございます。今回は残念ながら当方の分野の卒業論文中間発表会と重なっており、厚木での終了が午後6時くらいと予想されますので、残念ながら不参加です。盛会をお祈り申し上げます。

85回・奥村基 / 連絡ありがとうございます。今回は残念ながら欠席です。昨日、白鳥十三さんの新潟での個展を見に行きました。相変わらずお元気そうでなによりでした。皆様にもどうぞ宜しくお願い致します。

86回・吉井正行 / お世話になります。返事が遅くなりましたが、6/19は欠席、11/6は出席でお願いします。宜しくお願い致します。

87回・清水忠明 / 残念ながら都合がつかず新人歓迎会には出席できません。ご盛会をお祈りいたしております。近況：昨年に引き続き新潟高校の評議員をしております。高校が外部の評議員から意見をきいたり、また生徒による学校評価をしてその結果をインターネットで公開するようになっています。我がが高校生であった頃(40年近く前)に比べると、隔世の感です。生徒の評価項目の一つ面白いものに「行事や集会時の校長先生の話はよく分かり、考えが伝わってきますか。」というのがあります。結果は…(新潟高校の公式Webページをご覧ください)。

88回・小竹聡 / 直前のお返事となっておりますことお許しください。6月19日の新人歓迎会・講演会、欠席とさせていただきます。合わせて住所変更もお知らせ致します。

89回・岩野尚子 / いつも、お世話になっております。今回の同窓会は出席します。宜しくお願い致します。

89回・瀬川久孝 / 出席させていただきます。

89回・西巻政信 / この度の新人歓迎会は、欠席させて頂ければ幸いです。

89回・本間裕基 / 欠席します。いつもご苦勞様です。また宜しくお願い致します。

89回・山田敏昭 / 歓迎会ですが、誠に申し訳ありません。当日、出張の為、参加できません。同期、長谷川には、よろしくお伝えください。

89回・扇坂一朗 / ご案内をいただきありがとうございます。4月より新潟本社総務部へ異動となりました。東京支店在籍中は、大変お世話になりました厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

90回・池田美弥子 / いつもお世話になり、ありがとうございます。出席します。返事が遅くなりすみません。よろしくお祈りします。

90回・勝山達志 / 新人歓迎会について、メールでも出席申込をしております。

90回・木村和人 / 参加させていただきます。遅くなりましてすみません。

90回・斎藤彰 / すみません。当日所用があり欠席させていただきます。

90回・森豊 / 6/19の歓迎会、業務の都合で出席できなくなりました。何卒ご容赦くださいますようお願い致します。

94回・野崎雅恵 / 出席させていただきます。来月世界遺産登録の可否が決まる「明治日本の産業革命遺産」の広報のお仕事をたぐいまれに請け負っており、各自治体の首長や政府にインタビューをしたり、世界遺産登録推進と協力をしながら、登録を目指して日々頑張っています。

105回・柳通こずえ / 出席させていただきます。急で申し訳ありません。急遽お休みが取れまして、ぜひ出席させていただきます。105回の同級生にみんなに声をかけて、同級会を東京で開く予定です。次回の総会には、105回生をたくさん連れて行きたいと思っています。

107回・前田沙良 / 新潟へ転居いたします。

112回・藤田勇樹 / 新人歓迎会の案内をいただき誠にありがとうございます。昨年は出席させていただきましたが、本年は業務都合がつかず、大変残念ながら「欠席」とさせていただきます。お願ひ申し上げます。

113回・関佑祐 / 参加させていただきます。宜しくお願い致します。

114回・宗倉正哲 / いつもお報を讀ませて頂いています。転居しましたので住所の変更をお願い致します。

116回・中山隆寛 / 4月に新潟へ転居しました。

117回・榎本飛鳥 / 出席させていただきます。もし、お手伝いできる事があればさせていただきます。総会はまだ予定が分からないので保留させていただきます。

117回・清水拓 / この度、就職に伴い下記の住所へ移転しましたのでご連絡申し上げます。お手数ですが住所変更をお願い致します。申し訳ありませんが、勤務地の都合上総会等には参加できません。盛会を祈念いたします。東京を離れることとはなりましたが、今後お報をお送りさせていただきますと幸いです。

117回・高尾早彰 / お世話になっております。残念ながら欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。新潟に戻って参りました。住所変更をお願い申し上げます。

117回・野崎峻平 / 滋賀県へ転居いたしました。

117回・畑山雅俊 / ご無沙汰しております。2009年卒業の畑山です。出席したくご連絡いたしました。広告会社に勤めており、先日読売新聞主催の読売広告賞で準グランプリをいただきました。

118回・小黑広生 / ご連絡の期限を超過してしまい大変恐縮でございますが、表題の件につきましてご連絡させていただきます。新人歓迎会：欠席。総会：欠席。ご多化の中お手数お掛けし大変申し訳ございませんが、宜しくお願い致します。

118回・河合英里 / いつもお世話になっております。欠席いたし

ます。宜しくお願いいたします。

118回・古川明稔 / 藤沢市へ転居しました。

119回・大橋建太 / 新人歓迎会に参加させていただきます。現在は早稲田大学4年として就職活動に励んでおります。私が高校時にお世話になった担任の先生方もお越し下さるとお聞きして楽しみにぜひともお会いしたいと思っております。宜しくお願いいたします。

119回・小池治樹 / お世話になっております。119回の小池治樹と申します。3年時の担任であった永村先生が参加されるということで、自分も参加させていただきたいと思っております。宜しくお願い致します。

119回・工藤優衣 / 出席させていただきます。なお、転居しましたので更新をお願い致します。

120回・阿部佳南子 / 新人歓迎会講演会のご連絡ありがとうございます。欠席届けをお送りいたします。宜しくお願いいたします。

120回・松元優典 / この度は同窓会のご案内ありがとうございます。同級生や先輩方とお話し出来る貴重な機会です。出席させていただきますので、その日は大学の講義と重なっており、誠に残念でありませんが、出席が叶いません。また、11月6日の総会についても同理由で出席が出来ません。メールでの返事となりましたことをお詫言致します。来年は出席出来ればと考えておりますので、その折にはご連絡頂きますようお願い申し上げます。

121回・柄澤秀親 / 一昨年、昨年度のように年会費をお振込み致しましたが、会報が届きませんでした。ご確認の程宜しくお願い致します。

121回・長谷川巧 / 総会の方は予定が分からないため返答できませんが、新人歓迎会の方は参加させていただきます。

122回・岡野大知 / アルバイトがあるため、欠席させていただきます。宜しくお願いいたします。

122回・木部末帆子 / 新人歓迎会講演会ですが、所用により欠席させていただきます。申し訳ございません。ご盛会をお祈りしております。

122回・田中麟太郎 / お世話になっております。新人歓迎会のメール及び郵便がこちらに届かなかったのですが、友人から連絡を受けました。6/19出席させていただきます。

122回・西口葉月 / 転居しました。

122回・堀綾葉 / 欠席させていただきます。何卒よろしくお祈り致します。

123回・落合真由子 / 出席いたします。

123回・佐藤夏海 / 出席いたします。

123回・目黒真行 / 出席します。宜しくお願い致します。

123回・梁敬孝 / 出席を申し込みます。宜しくお願い致します。

123回・大野咲希子 / 突然のメール失礼いたしました。欠席で返信したのですが、出席に変更していただくことは可能でしょうか。

123回・小坂井善将 / 出席します。

123回・近倫人 / 出席いたします。早稲田大学政治経済学部政治学科に入って勉強しています。

123回・真藤隆平 / この度は新人歓迎会にお招きいただきありがとうございます。是非参加したいと思っておりますが、4月から柔道部に所属しており、七大戦を6月20日・21日に控えるため前日の19日から仙台に発たなければなりません。素晴らしい先輩方にお会いできないのがとても残念ですが、今回は欠席させていただきます。今後またこのような機会を待っていただける機会があれば是非参加したい、とその日を待ち望んでおります。大学生活については、お陰様で良い仲間恵まれ楽しく勉学・部活に励んでおります。先輩方のサポートがあつてこそ今の自分があるのだという意識を持って、それに恥じないよう今後日々しっかりと自分を磨いていきたいと存じます。

123回・番馬拓巳 / 卒業式で、同窓会登録のハガキを出すことをすっかり忘れていて、最近友人から言われ気づきました。申し訳ありません。今から登録できますか？

123回・本間達 / 6月19日に行われる同窓会には123期卒の新生徒として出席したいと考えております。宜しくお願いいたします。

123回・山田謙介 / 出席いたします。11/6の総会は保留でお願いいたします。

123回・柄澤美季 / 東京青山同窓会に出席します。宜しくお願い致します。

123回・駒村萌 / 連絡が遅くなり申し訳ありません。出席いたします。よろしくお祈り致します。

123回・小出拓郎 / はじめまして。今春に武蔵野大学に入学した、小出拓郎と申します。6月19日の新人歓迎会に出席したいと思っております。3年時は5組でした。宜しくお願いいたします。

123回・小柳裕史 / 初めまして。第123回卒業生です。検討していた、連絡が遅れてしまい、申し訳ございません参加させていただきます。

123回・板垣優介 / 返信が遅れて申し訳ございません。出席いたします。当日は6時まで大学の講義がありますので、少し遅れますことをご容赦願います。

123回・川原紀 / 出席します。

123回・若杉聖 / 担任の先生のメールのやり取りがうまくいかず、同窓会からの招待のメールを受けとることができない状態になりましたが、122期生の田中先輩の紹介を受けたもので、今日、参加申し込みをしたいと思いメールを送信しました。宜しくお願いいたします。

123回・五十嵐将 / 東京大学教養学部1年生の五十嵐将と申します。新人歓迎会に参加を希望します。案内を頂いてから時間が空きますので申し訳ありません。宜しくお願いいたします。

123回・込山華 / 申し訳ありませんが、今回は出席させていただきます。連絡が遅くなってしまいました。宜しくお願いいたします。

平成26年度 (H26.10.1~H27.9.30) 年会費納入者一覧

| | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 46回 (1名) | 河野誠 | 鶴巻正義 | 田村康一 | 69回 (9名) | 74回 (34名) | 天野直二 | 吉田英幸 | 87回 (4名) | 116回 (2名) |
| 下勇 | 小林栄作 | 時岡泰 | 中山徳彦 | 青木利祐 | 藍沢幹人 | 五十嵐幹雄 | 80回 (8名) | 清水忠明 | 馬場直也 |
| 48回 (1名) | 茂泉喜彦 | 徳田晋也 | 西野貢司 | 小黒朋弘 | 青海潔 | 板羽健 | 青木隆次 | 長場馨 | 本間友香理 |
| 石本三郎 | 洪木幸三 | 長沼雄峰 | 庭山暢彦 | 佐藤孝靖 | 池一 | 岡田恵子 | 長正子 | 南正人 | 117回 (5名) |
| 49回 (2名) | 関野光弘 | 中村正春 | 早川周作 | 菅沼浩 | 池田正行 | 尾張明美 | 小林亮介 | 渡辺政城 | 榎本飛鳥 |
| 仁保武人 | 高橋晴夫 | 藤田太郎 | 福田正夫 | 高木敏之 | 石井拓男 | 海部和史 | 斎藤正春 | 88回 (5名) | 清水拓 |
| 舟崎裕二郎 | 高橋正利 | 村岡公夫 | 藤沢靖郎 | 高柳洋夫 | 和泉潤 | 加澤正樹 | 清水洋一 | 今井信一郎 | 畑山雅俊 |
| 50回 (3名) | 高山昇二郎 | 村山健 | 藤田昇三 | 樋口正臣 | 伊藤宏 | 加野裕資 | 高橋直人 | 大越健介 | 樋口亨 |
| 上村光司 | 長島一郎 | 山田克浩 | 星満 | 村上則彦 | 岩城修平 | 賀谷彰夫 | 滝沢正規 | 小竹聡 | 宗村泰孝 |
| 寺田秀夫 | 長橋敏雄 | 62回 (20名) | 真壁日史郎 | 矢川一義 | 江口則男 | 木下正仁 | 横尾和儀 | 布施明 | 118回 (2名) |
| 村山一 | 納谷喜郎 | 池田昌之 | 榊瀧晴夫 | 70回 (13名) | 大石憲一 | 後藤徳広 | 81回 (8名) | 吉岡潤 | 会田俊貴 |
| 51回 (3名) | 花井進 | 石黒恒 | 松田勲 | 池田好正 | 大滝均 | 小松澄子 | 荒川洋 | 89回 (7名) | 田崎智之 |
| 梶井功 | 藤原幸雄 | 石崎富士臣 | 吉川要輔 | 猪口孝 | 糟谷久好 | 小宮山信男 | 越野昌芳 | 伊藤孝憲 | 119回 (5名) |
| 北村茂 | 山田和雄 | 石田寛 | 65回 (12名) | 川田昌人 | 加藤直久 | 近藤壽邦 | 笹川典男 | 岩野尚子 | 大橋建太 |
| 千葉繁太 | 吉田陽吾 | 内山隆之 | 安藤宣清 | 小林繁雄 | 川田澄子 | 鈴木茂夫 | 高野俊也 | 倉田裕一 | 小池治樹 |
| 52回 (7名) | 渡邊敏男 | 熊谷恒夫 | 五十嵐徹 | 菅原一雄 | 工藤義夫 | 鈴木隆雄 | 玉木勝一 | 瀧川久孝 | 高須保紘 |
| 浅田稔 | 60回 (29名) | 小池健治 | 川合英次 | 鈴木正俊 | 九里保 | 曾田修吉 | 成海孝二 | 西巻政信 | 土田良樹 |
| 阿部穆 | 阿部和彦 | 近藤哲朗 | 小林亘 | 関根俊明 | 解良和郎 | 田中邦直 | 山田徹 | 長谷川雄一 | 吉川璃子 |
| 小嶋嘉彦 | 池浦厚司 | 佐藤勝彦 | 中谷一泰 | 難波晃 | 坂井靖 | 太原まゆみ | 鰐淵博 | 渡邊貢 | 120回 (6名) |
| 斎藤茂美 | 石黒忠士 | 佐藤武司 | 本間武彦 | 福島治 | 佐藤栄 | 田村俊作 | 82回 (12名) | 90回 (14名) | 伊藤学 |
| 斎藤泰五郎 | 入山文郎 | 鈴木勉 | 丸山一敏 | 山宮三郎 | 佐藤信秋 | 中川英二 | 樋川純 | 池田美弥子 | 神野育人 |
| 橋本義行 | 岩田暁一 | 曾我健 | 三川武彦 | 吉川正孝 | 島津満里子 | 長北学 | 柴森秀一 | 歌代真人 | 中村優志 |
| 廣川勲 | 内山真一 | 土橋晃 | 村木利夫 | 渡辺允雄 | 関川修一 | 西沢芳樹 | 小川祥二 | 金井義文 | 松元慎典 |
| 53回 (4名) | 笠原功 | 手操聡 | 山田寛 | 渡部美那実 | 高橋保 | 長谷川邦良 | 清田基 | 木村和人 | 宮本真理子 |
| 近藤圭二 | 金山常吉 | 藤井則忠 | 山本和親 | 71回 (14名) | 高橋信郎 | 八田進二 | 日下部朋子 | 小林美奈子 | 梁取和花奈 |
| 中山政夫 | 河田鐵雄 | 藤原京子 | 横山修二 | 雨宮孝弘 | 竹之内明 | 浜田正継 | 小亦斉 | 斎藤彰 | 121回 (6名) |
| 堀時男 | 小林賢一 | 帆苺宏典 | 66回 (6名) | 内山博勝 | 田村栄作 | 林誠 | 斎藤結花 | 斎藤結花 | 青木雄佑 |
| 盛山淑郎 | 小林吾郎 | 嶺國和 | 石山芳春 | 遠藤正男 | 土屋彰義 | 古川恒一 | 坂井謙一 | 白倉真澄 | 大川理紗 |
| 55回 (2名) | 小林満 | 渡辺千里 | 稲月喜一 | 太田裕 | 中村義一 | 細谷洋一 | 内藤理 | 高橋美和 | 柄澤秀規 |
| 千葉繁治 | 近藤純夫 | 渡辺貢英 | 内田定寛 | 柄沢卓 | 西田百合子 | 三沢健 | 西山活子 | 田辺文 | 齋藤愛 |
| 中村正義 | 斎木守雄 | 63回 (13名) | 川原英夫 | 桑山峯雄 | 西脇雄一 | 湊勝 | 福嶋元 | 中村泰 | 田邊すず |
| 56回 (14名) | 坂口英一 | 浅野康一 | 二宮靖彦 | 齋藤誠 | 山崎久孝 | 湯木雅恵 | 宮村伸一 | 原茂樹 | 長谷川巧 |
| 赤坂長弥 | 佐藤孝 | 五十嵐信一郎 | 丹羽真彦 | 高橋紘生 | 若林源基 | 渡辺春夫 | 83回 (9名) | 樋口正史 | 122回 (8名) |
| 朝比奈和三 | 清水梯作 | 五十嵐房子 | 67回 (17名) | 高橋稔 | 渡辺洋一 | 渡辺弘 | 相沢秀幸 | 森豊 | 加藤爾 |
| 網干道雄 | 杉野剛博 | 市川瑞夫 | 朝妻紘一 | 西尾レン | 渡部終五 | 渡辺雅夫 | 浅間芳朗 | 91回 (2名) | 金巻恭弘 |
| 飯島昌彌 | 高城英雄 | 市村義雄 | 石井幹男 | 福井明子 | 75回 (28名) | 77回 (10名) | 遠藤光郎 | 岡田留美子 | 角木啓太 |
| 市川千尋 | 徳田浩一 | 金子亮 | 岡崎功 | 堀清忠 | 有蘭順子 | 石川彰 | 佐野栄二 | 真保恵美子 | 田中麟太郎 |
| 井上菊雄 | 中田亨 | 白倉至 | 小野勝義 | 松田裕子 | 五十嵐正 | 片山等 | 高山佳郎 | 92回 (2名) | 土屋平 |
| 加藤勝則 | 野村保夫 | 関守二 | 風間繁 | 山下正文 | 大塚恵子 | 北村一雄 | 三沢一成 | 青木敦子 | 仲田未優 |
| 木村直平 | 長谷川秀三 | 相墨直彦 | 片山忠一 | 72回 (21名) | 笠井忠 | 桜井宗一 | 三沢一成 | 山口虎彦 | 平松八重子 |
| 小島直孝 | 早川貞夫 | 中村道衛 | 北村紘一 | 阿部史郎 | 川上滋 | 佐藤茂 | 山口虎彦 | 横山修 | 94回 (2名) |
| 小松重男 | 廣瀬欽次郎 | 馬場政説 | 斉藤久美子 | 宇田川由美 | 木戸守 | 仙豊茂 | 横山達也 | 海部真美子 | 123回 (18名) |
| 清野誠二 | 藤本剛 | 彦坂道迹 | 佐々木邦夫 | 大野博 | 小泉慈行 | 時岡高志 | 84回 (7名) | 野崎雅恵 | 五十嵐将 |
| 田村量一 | 松尾克己 | 村山弘義 | 清水雄伍 | 小川省三 | 後藤輝雄 | 萩野一廣 | 岡田憲明 | 岡田憲明 | 板垣優之介 |
| 中山昭一 | 宮田庄之助 | 64回 (38名) | 菅又信 | 金巻裕史 | 佐藤邦雄 | 長谷川実 | 唐澤亜弥子 | 浜田恒平 | 大野咲希子 |
| 松井昭五 | 矢川和偉 | 青野啓 | 高橋三郎 | 神林賢治 | 鈴木正夫 | 山田民夫 | 田崎正巳 | 99回 (1名) | 落合真由子 |
| 57回 (2名) | 61回 (32名) | 岩淵道夫 | 高橋信夫 | 黒木トシ子 | 曾我正男 | 78回 (14名) | 田中昌夫 | 君和田俊裕 | 小柳裕史 |
| 片野信男 | 安宅久憲 | 植村頼音 | 寺井宏 | 小林正昭 | 高木久夫 | 牛島康子 | 野口俊介 | 100回 (1名) | 柄澤美季 |
| 平野敦雄 | 安藤友憲 | 大石正晃 | 西章 | 近藤正 | 白鳥十三 | 太田秀樹 | 堀昌樹 | 古川明久 | 小出拓郎 |
| 58回 (7名) | 伊藤英子 | 大倉孝男 | 前田康久 | 齊藤俊正 | 高橋久夫 | 斎藤庫之丞 | 星野紹英 | 103回 (1名) | 小坂井善将 |
| 浅田秀雄 | 稻垣甫玄 | 太田健治 | 三堀浩 | 菅又滋 | 野崎茂 | 志藤洋子 | 85回 (11名) | 鷲尾英一郎 | 近倫人 |
| 片桐欣哉 | 金子章 | 風間治雄 | 68回 (18名) | 安達賢司 | 橋爪博美 | 篠田敏朗 | 雨木若慶 | 105回 (1名) | 坂井楓花 |
| 大門啓治 | 河井良三 | 柄沢茂 | 安達雅巳 | 高橋祐介 | 馬場俊博 | 鈴木裕二 | 今井豊重 | 柳通こずえ | 佐藤夏海 |
| 田中浩次 | 川崎榮一 | 川崎明 | 安達雅巳 | 戸田満弘 | 萬歳信行 | 須田幸子 | 奥村基 | 107回 (4名) | 中川篤紀 |
| 福田満 | 木田満洲男 | 木山清 | 小野塚芳雄 | 富田由李 | 平井和雄 | 瀧澤道夫 | 河治政俊 | 小橋川嘉樹 | 本間遼 |
| 松井慎平 | 木村政雄 | 齊木幸彦 | 上村嶺子 | 中地光子 | 深沢義和 | 肥田博子 | 田中清 | 鈴木梓 | 目黒晶行 |
| 望月和明 | 草間光俊 | 坂井俊一 | 草野佐 | 西村正徳 | 藤井建一 | 前田長生 | 田中研一 | 鈴木博之 | 安田聖 |
| 59回 (28名) | 熊谷隆幸 | 坂井敬 | 後藤林八 | 野村耕治郎 | 藤縄利勝 | 村田光男 | 苦米地令 | 富山聡仁 | 梁取拳 |
| 阿部進 | 小林孝司 | 佐藤章 | 小日向信光 | 原綱子 | 本田晴久 | 山口英 | 森大輔 | 109回 (2名) | 山田謙介 |
| 石山芳昌 | 小林元雄 | 佐藤茂司 | 重野康人 | 古山恒夫 | 三富修 | 吉澤哲彦 | 柳下和彦 | 駒形悠 | 若杉響 |
| 板井裕 | 小山達人 | 椎名睦郎 | 下田桂子 | 矢川一忠 | 八木健 | 渡辺茂 | 山田尚美 | 90回 (2名) | 以上626名 |
| 牛木素吉郎 | 斎藤伸昭 | 清水裕子 | 清沢猛 | 73回 (8名) | 山崎信行 | 79回 (9名) | 吉田真吾 | 110回 (2名) | 石崎徹 |
| 梅澤貞雄 | 佐藤敏夫 | 清水良男 | 竹石肇 | 雨宮則夫 | 山田宏明 | 伊藤毅 | 86回 (7名) | 高橋憲正 | 113回 (1名) |
| 遠藤欽哉 | 杉山由人 | 須田嶺治 | 長沼誠二 | 飯村修 | 山根英郎 | 小田章治 | 斎藤健 | 115回 (3名) | 柄木康行 |
| 岡田久 | 助川孝雄 | 高橋正幸 | 濱田庄司 | 鈴木厚人 | 76回 (40名) | 河正子 | 田中利直 | 118回 (2名) | 大森大貴 |
| 小村幸久 | 巢山誠之 | 高見浩 | 村山弘 | 田辺研吉 | 青山耕一 | 川合清司 | 乘兼浩明 | 119回 (2名) | 若杉響 |
| 笠井巖 | 関矢和男 | 田才邦彦 | 渡邊公夫 | 中村陽子 | 明村澄雄 | 川上康夫 | 林光洋 | 120回 (6名) | |
| 菊池裕 | 竹尾昇 | 田辺元彦 | 渡辺千艦 | 宮崎由美 | 浅妻厚 | 川上康夫 | 大森大貴 | 121回 (6名) | |
| 栗林貞一 | 田中宣 | 田伏正樹 | 渡辺泰彦 | 安達修 | 安達修 | 鳥羽正尚 | 宮田重三郎 | 122回 (8名) | |
| 小池和男 | 田中忠夫 | 田巻亮 | 渡部治子 | 阿部令一 | 阿部令一 | 西口幸男 | 吉井正行 | 123回 (8名) | |

